

建築施工系 R3 技能照査の基準の細目 新旧対照表と対応表(教科の細目)(赤字は変更部分)

系 科	教科の科目		訓練 時間	R3見直し			教科の細目(現行)とR3見直し	技能照査の基準の細目(現行)	技能照査の基準の細目の再配置とR3見直し結果	見直し理由
				教科	設備	照査				
No.31	系基礎学科	1	建築概論	10			○ 建築の概要、建築物の種類、建築史	1 建築物の歴史、役割について知っていること。 2 建築生産について知っていること。 3 建築計画について知っていること。 4 建築構造について知っていること。 5 建築設備について知っていること。 6 建築製図について知っていること。 7 測量について知っていること。 8 建築製図について知っていること。 9 安全衛生について知っていること。 10 関係法規について知っていること。	×1建築物の歴史、役割について知っていること。 ○1建築の概要、建築物の種類、建築史について知っていること。	教科の細目に合わせるため変更。
		2	構造力学概論	30			○ 力の釣合い、荷重と外力、応力、断面の性質		2 構造力学について知っていること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更
		3	建築構造概論	60			○ 木造建築、プレハブ建築、枠組壁建築、鉄筋コンクリート造建築、鉄骨造建築		3 建築構造について知っていること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更
		4	建築計画概論	40	○		×全体計画、各部の計画、計画の進め方 ○全体計画、各部の計画、計画の進め方、 <u>建築環境</u>		4 建築計画について知っていること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更
		5	建築生産概論	20			○ 機械、工程管理、資材管理、生産管理、契約事務		5 建築生産について知っていること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更
		6	建築設備	20			○ 設備計画、給排水設備、電気設備、空調設備、その他の設備		6 建築設備について知っていること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更
		7	測量	10			○ 測量一般、測量機器、敷地測量、図面及び計算		7 測量について知っていること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更
		8	建築製図	20			○ 製図用具及び用紙、製図通則、建築製図の概要		8 建築製図について知っていること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更
		9	安全衛生	20			○ 安全衛生管理、安全衛生関係法規、安全作業法		9 安全衛生について知っていること。 ○9 安全衛生についてよく知っていること。	・教科の性質上、習得の到達水準を「知っている」から「よく知っている」に修正。建築内装系も平仄の必要性あり。 ・教科の細目と対応させるために配置と番号を変更
		10	関係法規	20			○ 建築基準法、建設業法、建築士法		10 関係法規について知っていること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更
系基礎学科合計			250							
No.32	系基礎実技	1	機械操作基本実習	90			○ 機械使用法、CAD操作、OA機器操作	1 各種測量法により測量ができること。 2 機械使用法、CAD操作及びOA機器操作ができること。 3 安全衛生作業がよくできること。	1 機械使用法、CAD操作及びOA機器操作ができること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更
		2	測量基本実習	30	○	○	○ ×平板測量、水準測量、角測量、測量図 ○ 水準測量、角測量、測量図		2 各種測量法により測量ができること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更
		3	安全衛生作業法	30	○	○	×安全作業法、衛生作業法 ○安全衛生作業法		3 安全衛生作業がよくできること。	
		系基礎実技合計			150					

系 科	教科の科目	訓練 時間	R3見直し			教科の細目(現行)とR3見直し	技能照査の基準の細目(現行)	技能照査の基準の細目の再配置とR3見直し結果	見直し理由		
			教科	設備	照査						
木造建築科専攻	専攻学科	1	木質構造	20			○ デザインと構造、荷重と構造計画、木質構造用材料、木質構造の接合部、各部構造の設計	<p>1 各種の仕口、継手及び造作についてよく知っていること。</p> <p>2 断熱・気密、防霉及び防音について知っていること。</p> <p>3 建築用材料について知っていること。</p> <p>4 規く術について知っていること。</p> <p>5 木質構造についてよく知っていること。</p> <p>6 構造材及び造作材の加工について知っていること。</p> <p>7 仕様及び積算について知っていること。</p>	1 木質構造についてよく知っていること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更	
		2	材料	20			○ 金属系材料、木質系材料、セメント系材料、プラスチック系材料、その他の材料		2 建築用材料について知っていること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更	
		3	規く術	30	○		○ ×図板・尺杖等の作成方法、さしがね使用法、勾配、勾・安・玄の名称及び長さの計算、四方転び、隅木 ○ さしがね使用法、勾配、勾・安・玄の名称及び長さの計算、四方転び、隅木		3 規く術について知っていること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更	
		4	工作法	30	○		○ ×構造材の墨付け及び切組、造作材の木ごしらえ及び取付け ○ 図板・尺杖等の作成方法、構造材の墨付け及び切組、造作材の木ごしらえ及び取付け		4 規く術について知っていること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更	
		5	木造建築施工法	30			○ 墨付け、仕口と継手、造作、断熱・気密、防霉、防音		5 木質構造についてよく知っていること。	5 各種の仕口、継手及び造作についてよく知っていること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更
										6 断熱・気密、防霉及び防音について知っていること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更
		6	仕様及び積算	20			仕様書、積算		7 仕様及び積算について知っていること。	7 仕様及び積算について知っていること。	
	専攻学科合計		150								
	専攻実技	1	器具使用法	50			木工機械の取扱い、電動工具の取扱い、手工具の取扱い	<p>1 木工機械、電動工具及び手工具の取扱いがよくできること。</p> <p>2 各種部材の加工ができること。</p> <p>3 各種部材の加工ができること。</p> <p>4 各種部材の製作ができること。</p> <p>5 各種造作及び仕上げができること。</p> <p>6 各種造作及び仕上げができること。</p> <p>7 各種軸組及び木造小屋組ができること。</p>	1 木工機械、電動工具及び手工具の取扱いがよくできること。		
		2	工作実習	100			木工機械及び手工具による加工		2 各種部材の加工ができること。		
		3	木造建築施工実習	150			○ 木造建築物の施工、詳細図、施工図等作成		×3 木造建築物の製作ができること。	木造建築物の「製作」ではなく、「施工」と呼ぶことが一般的な表現であるため。	
									○3 木造建築物の施工ができること。		
	専攻実技合計		300								

系 科	教科の科目	訓練 時間	R3見直し			教科の細目(現行)とR3見直し	技能照査の基準の細目(現行)	技能照査の基準の細目の再配置とR3見直し結果	見直し理由										
			教科	設備	照査														
66 専攻学科 専攻実技	1	枠組壁工法	20			○ 北米等の木造建築、枠組壁工法の定義、各部の構造、構造計画	1 躯体の構成についてよく知っていること。 2 工法の特徴についてよく知っていること。 3 施工法についてよく知っていること。 4 建築用材料についてよく知っていること。 5 規く術について知っていること。 6 仕様及び積算について知っていること。	1 工法の特徴についてよく知っていること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更										
	2	材料	30			○ 枠組材、面材、造作材、金物と釘、接着剤、建築材料一般		2 建築用材料についてよく知っていること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更										
	3	規く術	30			○ さしがね使用法、勾配、勾・玄の名称及び長さの計算法、四方転び、隅木		3 規く術について知っていること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更										
	4	枠組壁建築施工法	50			○		躯体の構成、工作の特徴と工程、工法と基準、施工法	4 躯体の構成についてよく知っていること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更									
						○			5 施工法についてよく知っていること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更									
	5	仕様及び積算	20			仕様書、積算		6 仕様及び積算について知っていること。											
	専攻学科合計		150																
	1	器具使用法	50				木工機械の取扱い、電動工具の取扱い、手工具の取扱い	1 木工機械、電動工具及び手工具の取扱いができること。	1 木工機械、電動工具及び手工具の取扱いができること。										
											2	部材加工実習	100			木工機械・手工具による加工法	2 各部材の組立てができること。	2 各部材の組立てができること。	
											4	木工機械、電動工具及び手工具による加工ができること。	4 木工機械、電動工具及び手工具による加工ができること。						
	専攻実技合計		300																

系 科	教科の科目	訓練 時間	R3見直し			教科の細目(現行)とR3見直し	技能照査の基準の細目(現行)	技能照査の基準の細目の再配置とR3見直し結果	見直し理由
			教科	設備	照査				
77	1 材料及び器具	20				とび工用器具、仮設材、木質系材料、金属系材料、コンクリート系材料、その他の材料	1 材料及び器具の種類及び取扱いについて知っていること。		
	2 とび施工法	40				1 材料及び器具の種類及び取扱いについて知っていること。 2 仮設の建築物及び設備について知っていること。 3 仮設物の組立て及び解体について知っていること。 4 工用機械と設備の種類及び取扱いについて知っていること。 5 建設工事の施工法について知っていること。 6 重量物の運搬方法について知っていること。 7 とび工事の施工図について知っていること。 8 建築物の各種構造の建方についてよく知っていること。 9 墨出しについて知っていること。 10 仕様及び積算について知っていること。	2 とび工事の施工図について知っていること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更	
							3 建築物の各種構造の建方についてよく知っていること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更	
							4 工用機械と設備の種類及び取扱いについて知っていること。		
							5 建設工事の施工法について知っていること。		
	3 仮設工事施工法	40				仮設建物の組立て・解体、足場の組立て・解体	7 仮設の建築物及び設備について知っていること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更	
8 仮設物の組立て及び解体について知っていること。							教科の細目と対応させるために配置と番号を変更		
4 土工事施工法	30	○			× 掘削工事、排水工事、山留め工事、杭・地業工事 ○ 掘削工事、排水工事、山留め工事、杭・地業工事、 <u>支保工工事</u>	×9 墨出しについて知っていること。 ○9 <u>土工事施工法について知っていること。</u>	「墨出し」は他の教科の細目に内包されるので削除し、「土工事施工法」全体の到達目標に変更。		
5 仕様及び積算	20				仕様書、積算	10 仕様及び積算について知っていること。			
専攻学科合計		150							

系 科	教科の科目		訓練 時間	R3見直し			教科の細目(現行)とR3見直し	技能照査の基準の細目(現行)	技能照査の基準の細目の再配置とR3見直し結果	見直し理由	
				教科	設備	照査					
と び 科 専 攻	専 攻 実 技	1	器 具 使 用 法	40			○ とび工事用器具の使用法		1 工事用器具の取扱いができること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更	
							○		2 命綱の使用ができること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更	
		2	玉 掛 揚 重 実 習	30			○	玉掛、揚重、運搬	1 やりかた、型枠製作ができること。 2 鉄骨軸組の建方、木造軸組の建方、PC板の取付けがよくできること。	3 玉掛け、揚重及び運搬ができること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更
		3	仮 設 工 事 実 習	100			○ ○	仮設建物の組立て・解体、足場の組立て・解体	3 鉄骨造と木造の建物の解体がよくできること。 4 玉掛け、揚重及び運搬ができること。	4 仮設の建築物、設備の組立て及び解体がよくできること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更
		4	鉄 骨 工 事 実 習	100			○ ○ ○	鉄骨建方、木造建方、コンクリート工事、建物解体	5 仮設物、足場の組立て及び解体ができること。 6 工事用器具の取扱いができること。 7 仮設の建築物、設備の組立て及び解体がよくできること。 8 命綱の使用ができること。 9 掘削工事ができること。	×5 仮設物、足場の組立て及び解体ができること。 ○5 仮設物、足場の組立て及び解体ができること。	誤字の修正
		5	土 木 工 事 実 習	30	○		○	×掘削工事、排水工事、山留め工事、杭・地業工事 ○掘削工事、排水工事、山留め工事、杭・地業工事、 支保工工事		6 やりかた、型枠製作ができること。 7 鉄骨造と木造の建物の解体がよくできること。 ×8 鉄骨軸組の建方、木造軸組の建方、PC板の取付けがよくできること。 ○8 鉄骨軸組の建方、木造軸組の建方、PC版の取付けがよくできること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更 ・「PC板」を「PC版」に語句を修正 ・教科の細目と対応させるために配置と番号を変更
専攻実技合計			300					×9 掘削工事ができること。 ○9 土工事全般ができること。	技能照査の実技試験が「掘削工事」だけでは狭いので、「土工事全般ができること」に修正。		

系 科	教科の科目		訓練 時間	R3見直し			教科の細目(現行)とR3見直し	技能照査の基準の細目(現行)	技能照査の基準の細目の再配置とR3見直し結果	見直し理由	
				教科	設備	照査					
78	専攻学科	1 建築施工計画	20			○	建築施工の概要、総合施工計画、鉄筋コンクリート工事計画	<p>1 鉄筋、型枠の加工及び組立てについてよく知っていること。</p> <p>2 鉄筋の拾い出しについてよく知っていること。</p> <p>3 コンクリート品質、打設及び養生についてよく知っていること。</p> <p>4 建設用材料についてよく知っていること。</p> <p>5 施工図についてよく知っていること。</p> <p>6 建築施工計画についてよく知っていること。</p> <p>7 仮設工事について知っていること。</p> <p>8 仕様及び積算について知っていること。</p>	1 建築施工計画についてよく知っていること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更	
		2 材料	40			○	金属系材料、木質系材料、セメント系材料、プラスチック系材料、その他の材料		2 建設用材料についてよく知っていること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更	
		3 仮設工事	30			○	施工設備工事の計画、共通仮設工事、足場、揚重・運搬設備		3 仮設工事について知っていること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更	
		4 鉄筋コンクリート施工法	40				○		基礎工事、鉄筋工事、型枠工事、コンクリート工事、仕上工事、その他の工事	×4 鉄筋の拾い出しについてよく知っていること。	・「型枠の拾い出し」が落ちているので追加。 ・教科の細目と対応させるために配置と番号を変更
							○			5 鉄筋、型枠の加工及び組立てについてよく知っていること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更
							○			6 コンクリート品質、打設及び養生についてよく知っていること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更
○	7 施工図についてよく知っていること。						教科の細目と対応させるために配置と番号を変更				
5 仕様及び積算	20				仕様書、積算	8 仕様及び積算について知っていること。					
専攻学科合計			130								

系 科	教科の科目		訓練 時間	R3見直し			教科の細目(現行)とR3見直し	技能照査の基準の細目(現行)	技能照査の基準の細目の再配置とR3見直し結果	見直し理由
				教科	設備	照査				
鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 施 工 科 専 攻	1	器具使用法	40			○	型枠、鉄筋コンクリート施工用器具、ガス溶接、アーク溶接	1 墨出しがよくできること。 2 器具の取扱いができること。 3 ガス溶接、アーク溶接ができること。 4 構造躯体の施工ができること。 5 鉄筋の加工及び組立てができること。 6 コンクリート打設ができること。 7 PC部材の製作ができること。 8 型枠の組立て及び解体ができること。 9 仮設物の組立て及び解体ができること。	1 器具の取扱いができること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更
						○			2 ガス溶接、アーク溶接ができること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更
	2	墨出し実習	30			○	型枠墨出し、仮設物墨出し		3 墨出しがよくできること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更
	3	仮設工事実習	50			○	仮設物の組立て及び解体		4 仮設物の組立て及び解体ができること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更
	4	型枠工事実習	60			○	型枠組立て・解体		5 型枠の組立て及び解体ができること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更
						○			6 PC部材の製作ができること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更
	5	鉄筋工事実習	60			○	鉄筋の加工及び組立て		7 PC部材の製作ができること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更
○						6 PC部材の製作ができること。		教科の細目と対応させるために配置と番号を変更		
6	コンクリート工事実習	60			○	コンクリートの打設及び養生	8 コンクリート打設ができること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更		
					○		9 構造躯体の施工ができること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更		
専攻実技合計			300							

系 科	教科の科目	訓練 時間	R3見直し			教科の細目(現行)とR3見直し	技能照査の基準の細目(現行)	技能照査の基準の細目の再配置とR3見直し結果	見直し理由					
			教科	設備	照査									
79	専攻学科	1	プレハブ構法	30			○	プレハブ構法の分類、主要構造部品別構法、各種プレハブ構法の設計計画	1 各種プレハブ建築物の施工法について知っていること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更				
		2	材料	40				仮設材、構造材、下地材、造作材、仕上げ材	1 木質系、鉄鋼系及びコンクリート系プレハブ建築物の特性、構造、組立て法及び造作についてよく知っていること。 2 建築用材料について知っていること。	2 建築用材料について知っていること。				
		3	プレハブ建築施工法	60				○	木質系・鉄鋼系・コンクリート系プレハブ建築物の構造・組立法・造作	3 各種プレハブ建築物の施工法について知っていること。 4 仕様及び積算について知っていること。	3 木質系、鉄鋼系及びコンクリート系プレハブ建築物の特性、構造、組立て法及び造作についてよく知っていること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更		
		4	仕様及び積算	20					仕様書、積算	4 仕様及び積算について知っていること。				
		専攻学科合計		150										
	プレハブ建築科専攻	専攻実技	1	器具使用法	50				○	プレハブ建築用機械の取扱い、電動工具の取扱い、木材加工用手工工具の使用法	1 プレハブ建築用各種機械、携帯用電動工具の取扱いができること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更		
			2	部材加工実習	100				○	プレハブ建築用機械及び手工工具による加工法	1 木質系プレハブ建築物の組立てがよいこと。 2 鉄鋼系プレハブ建築物の組立てがよいこと。 3 コンクリート系プレハブ建築物の組立がよいこと。 4 読図ができること。 5 プレハブ建築用各種機械、携帯用電動工具の取扱いができること。	2 プレハブ建築用機械及び手工工具による部材加工ができること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更	
			3	プレハブ建築施工実習	150					○	プレハブ建築物の施工法	6 プレハブ建築物の製作がよいこと。 7 プレハブ建築用機械及び手工工具による部材加工ができること。	3 読図ができること。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更
													4 木質系プレハブ建築物の組立てがよいこと。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更
													5 鉄鋼系プレハブ建築物の組立てがよいこと。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更
							○		6 コンクリート系プレハブ建築物の組立がよいこと。	教科の細目と対応させるために配置と番号を変更				
専攻実技合計		300							×7 プレハブ建築物の製作がよいこと。 ○7 プレハブ建築物の施工がよいこと。(追加)	・教科の細目と対応させるために配置と番号を変更 ・プレハブ建築物の「製作」ではなく、「施工」と呼ぶことが一般的な表現であるために、「製作」を「施工」へ変更。				

